

平成 29 年度全国理科教育大会
第 88 回日本理化学協会総会 2017 埼玉大会報告

北海道札幌西高等学校 北理研研究部長 山本睦晴

●全国理事会

8月8日(火) 14:00～15:00 ウエスタ川越 大ホール

会長挨拶 …主に会長退任(議事3で提案・承認)のあいさつ

議事

1. 平成28年度事業報告
2. 平成28年度決算報告・監査報告
3. 役員選出 …赤石会長から宮本新会長に交代
4. 平成29年度事業計画
5. 平成29年度予算案
6. 次回大会開催について…岐阜大会の概要紹介 その後の予定 2019年度：高知大会
2020年度：九州ブロック 2021年度：北海道
7. 大会宣言

議事全体を通して議案書通り承認された。

表彰

1. 平成29年度教育功労賞
…32名が受賞 北海道から前川洋(前北理研会長)道立教育研究所長
2. 平成29年度日本理化学協会賞
3. 平成29年度特別功労賞

●文科省講話

8月8日(火) 15:10～16:10 ウエスタ川越 大ホール

「これからの理科教育の展開」 文部科学省初等中等教育局主任視学官 清原洋一氏

- ・高校の学習指導要領改訂に向けての動き…年度内に出る予定。
- ・キーワードは「思考力・判断力・表現力」と「主体的学び・対話的学び・深い学び」
- ・必要に応じて「振り返り」「繰り返し」を入れる…どう入れるのか？
- ・科目構成の見直し、国語、地歴、公民で大きく変わる。理科は現行通りの科目名。理数探求は必修にならないならあまり影響はないのか？総学への影響はあるのか？
- ・大学入試共通テスト…今年度はプレテストの内容に注目

●研究協議

・調査部アンケート結果

I. 生徒の動的な学習を主体とする授業の実施状況

進学率 90%以上と 19%以下の学校で実施率が高い。

…希望進路がバラバラだとやりにくいのだろう。

II. 大学入学希望者学力評価テストについて

「評価テストの対策」としてあげられる内容の認識に差がないか？

・入試問題検討委員会

入試センターへの申し入れ、センターからの回答(現在はネットに公開の形式)の流れは絶やさないと肝要。

・その他

理科充足調査結果・・・日本理科教育振興協会

充足率の高さ、低さについては何とも言えないが、自分の勤務校の設備についてどこまで把握しているか？特に「昭和」からある機器をどうするのか見通しとつげなくてはと改めて思い出させられた。

10年ぶりに北海道大会以外の全国大会に参加したが、北海道は9年に一度の開催で他県に比べて開催慣れしているように感じられた場面がいくつか見受けられた。

開会式会場と分科会会場が分かれていても特に問題を感じることはなかった。気温 35℃以上の炎天下を徒歩で移動するのも貴重な経験と思う。

全体会、分科会会場ともに案内表示が分かりにくく、右往左往する参加者が見受けられた。自分も結構困った。

開催県で教材などの「お土産」販売が目立っていなかった。自分が見つけられなかっただけなのかもしれないが、平成33年度に向けて北海道で何か用意するなら、平成24年度(西高)の時のように、受付近くに置いた方がよいと思った。

「科学の広場」は好評のようだった。開設する規模は柔軟に対応したいがある程度の規模の大きさは必要。

研究協議を2部制にした効果があったのか？効果的な研究協議の在り方は何か？結局、科目ごとに行う前提なのか？研究発表と研究協議のどちらを先に行うべきか？

今後、岐阜大会、高知大会、九州でどのように行われるのかを参考にしながら、平成33年度の前に北理研全道大会で何か試してみてもよいのではないか？と思った次第である。

追記

研究協議で稲子先生の意見提示は好評でした。同じ北海道ということで自分にまで声をかけてきた先生がいました。[今日の研究協議の提言]